(仮称)壬生ＰＡスマートインターチェンジ地区協議会　設立趣意書

本町は東京から北へ約90キロメートルに位置し、町内には、関越自動車道・東北自動車道・常磐自動車道と連結し北関東エリアの広域的な高速道路ネットワークを形成する北関東自動車道が横断していることから、首都圏や茨城港への交通アクセスが極めて良好な立地環境にあります。

このような中、北関東自動車道の都賀インターチェンジと壬生インターチェンジの間に、(仮称)壬生ＰＡスマートインターチェンジが設置され、高速道路と連携した道路交通ネットワークの強化が図られることにより、本町と首都圏、東北、甲信越方面への交通アクセスが向上することから、本町のさらなる発展に大きく寄与するものと考えております。

また、本スマートインターチェンジを設置することは、利便性向上のほか、県営とちぎわんぱく公園や壬生町おもちゃ博物館等の観光拠点に直接アクセスができることにより、広域交流人口の拡大やそれによる地域活性化が図られます。さらに、県内唯一の防災道の駅である「道の駅みぶ」にも高速道路から直接アクセスできることから、防災機能の拡大・強化の面でも非常に有効と考えております。

ついては、国土交通省、栃木県、栃木県警察本部、東日本高速道路株式会社及び壬生町が連携して、スマートインターチェンジの設置に向け必要な検討、調整を行い、供用後も継続して社会便益、安全性、利用交通量、管理・運営形態等を定期的にフォローアップし、必要に応じて見直すことが必要不可欠です。

そこで、これらを実行する組織として「(仮称)壬生ＰＡスマートインターチェンジ地区協議会」を設置するものです。

令和５年７月２５日

壬生町長　　小菅　一弥